

京都市「京都 SDGs パートナー制度」に認定されました

ダンボールで創るサステナブルな未来社会とは

日本一サステナブルなダンボール会社を目指す洛西紙工株式会社(所在地:京都市西京区)はこのたび、京都市が取り組む SDGs や CO2 ゼロの達成に向けたチャレンジに見える化し、多様な事業者が参加できる制度として創設された「京都 SDGs パートナー制度(注1)」に認定されました。

洛西紙工は、優れたダンボールの資材循環特性を活かし、業界の垣根を越えた連携で社会課題解決に取り組み、持続可能で豊かな未来社会(京都)づくりを目指します。



※強化ダンボールで製作した茶室

※ダンボール端材を再利用した知育キット「SDKids」

※注1 京都 SDGs パートナー制度 <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000295833.html>

SDGs、文化・地域活動に関して洛西紙工が重点的に取り組む事項

1. 知育工作キット、ダンボール製伝統工芸品の製作



(SDGs 該当番号 4・12)

工場製造時に出るダンボール端材に新たな価値を与え、次世代人材育成に貢献すべく、知育工作キット「SDKids(えすでーきつず)」を製作・展開しています。また、京都ならではの伝統文化振興×資源循環の新たな可能性を探るべく、これまで木材・プラスチック素材で作られていた伝統工芸に関する仕器をダンボールで製作するなど、新たな商品開発に取り組んでいます。

2. ダンボールの利用促進によるCO2削減



(SDGs 該当番号 7・12)

優れたリサイクル性を持つダンボールの資材特性を活かし、リサイクル不可能なもの(プラスチック等)をダンボールで代替し、再循環させる商品開発を行っています。また、大型梱包に木材ではなく強化ダンボールを使用することでコスト面のみならず、サプライチェーン全体でのCO2削減に貢献しています。

3. 次世代人材の育成



(SDGs 該当番号 4・17)

未来を担う次世代人材育成のために、教育機関と地域企業が「共育」する産学連携の取組として、大学でのリカレント教育、小学校中学校での環境教育・志教育の実施や大学生とのダンボールを活用した共同プロジェクト、インターンシップ等を実施しています。

会社情報

社名：洛西紙工株式会社
 本社所在地：京都府京都市西京区松尾木ノ曾町 40
 代表取締役：小田 幹夫
 事業内容：段ボールケースの製造販売、各種梱包資材販売
 設立：昭和35年(1960年)
 担当者：取締役 小田智英(おだともひで)
 H P: <https://rakusaishikou.com/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

洛西紙工株式会社. 取締役：小田智英 TEL：075-391-8862 MAIL：oda@rakusaishikou.co.jp